

# WITHホールディングスの完全子会社化 と特別株主優待実施に関する説明資料

1. WITHホールディングスについて
2. 取引概要について
3. 本件の経営戦略上の位置づけ
4. 資金調達について
5. 特別株主優待の実施について
6. 参考資料:財務情報 – 財務諸表の単純合算

# 1. WITHホールディングスについて

## WITHホールディングスの会社概要および沿革

### 会社概要

社名	株式会社WITHホールディングス
所在地	埼玉県川口市飯塚1-2-16
代表者の役職・氏名	代表取締役 新井実
事業内容	保育所・学童保育所等の運営、人材採用事業、給食事業及び食材調達事業、一般労働派遣事業、有料職業紹介事業等
グループ会社	株式会社WITH、株式会社アンジェリカ、株式会社Nプランニング
事業拠点	保育所83、学童施設12、介護施設4、療育施設1、本社(川口、池袋)
資本金	100百万円
従業員数	グループ全体 1,869名 / ㈱WITH 1,065名(※2025年10月時点)
設立年月日	2017年1月 ※㈱WITH設立は2004年7月

### 沿革

2002年 新井氏が埼玉県北浦和駅前に1号園「保育所まあむ北浦和駅前園」を開設

2004年 株式会社WITH設立

2008年 株式会社スマイルスタッフ設立(後に(株)WITHと統合)。フード事業を開始

2016年 株式会社まあむ設立(現在の㈱Nプランニング)。学び事業を開始

2017年 株式会社WITHホールディングス設立。㈱WITH、㈱Nプランニングの完全親会社となる

2020年 ティーキャピタルパートナーズ株式会社が資本参加

2021年 株式会社アンジェリカを完全子会社化

# 1. WITHホールディングスについて

## WITHホールディングスの財務概要および運営施設

### 財務概要

(単位:百万円)	2025年10月期 実績
売上高	13,162
売上原価	10,510
売上総利益	2,651
販売管理費	1,991
営業利益	660
EBITDA	1,720
経常利益	542
当期純利益	213
FCF (フリーキャッシュフロー)	1,199
運営施設数(施設数)	100
従業員数(人)	1,869

### 運営施設

#### (株)WITHホールディングス

経営コンサルティング業務

#### (株)WITH

保育園・学童施設・介護  
施設の運営

#### (株)アンジェリカ

保育園・学童施設の運営

#### (株)Nプランニング

労働者派遣、給食食材卸  
売、教育サービス提供

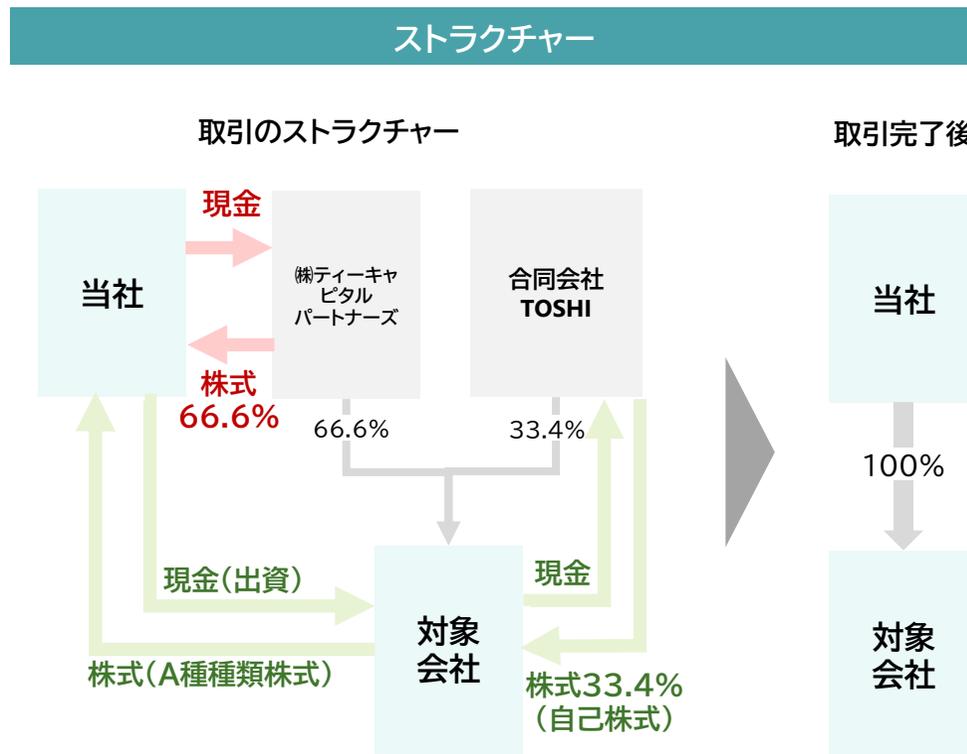
保育園	63	20	-
学童	6	6	-
介護	4	-	-
療育	-	-	1
合計	73	26	1

## 2. 取引概要について

### WITHホールディングスの完全子会社化

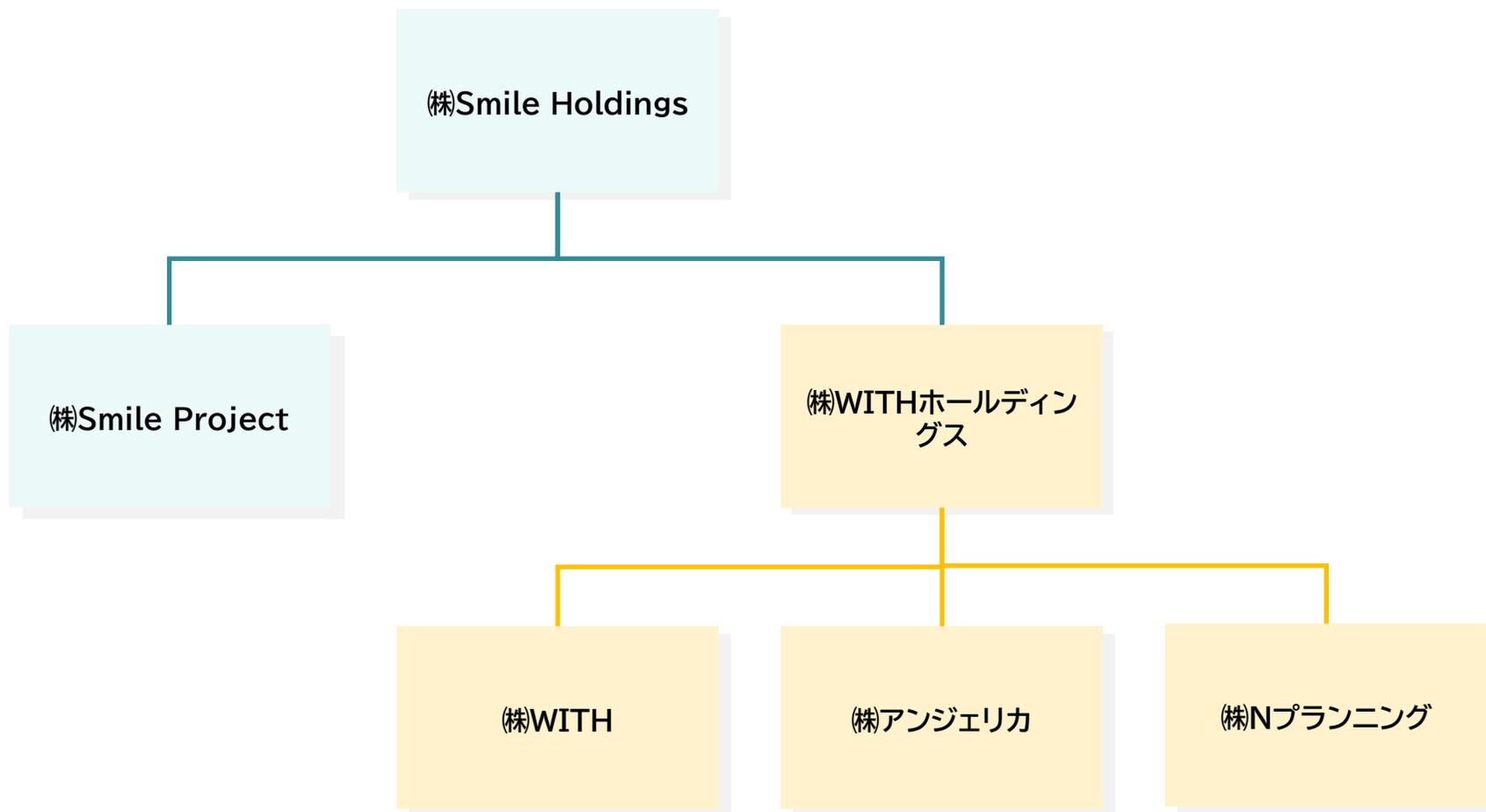
WITHホールディングスの全発行済株式の取得(但し自己株式を除く)

取引概要	
取締役会決議日	2026年3月23日
株式譲渡契約締結日	2026年3月23日
株式譲渡実行日(クローリング)	2026年5月8日(予定)
取得株式数	普通株式 78,189株 (議決権所有割合:100%) A種種類株式 1株 (議決権所有割合:0%)
取得価額	12,141百万円 ●普通株式 78,189株の対価として8,085百万円 ●A種種類株式の対価として4,055百万円
資金調達	16,772百万円 ●株式取得資金として12,141百万円 ●対象会社のリファイナンスのために4,300百万円



### クロージング後のSmile Holdingsグループ関係図について

新グループ関係図



## 2. 取引概要について

### 新Smile Holdingsの売上/施設規模

#### (株)Smile Holdings

グループ会社経営管理等

##### (株)Smile Project

認可保育園、プレスクール・幼児教室、学童施設、スイミングスクールの運営、幼児教育教材開発等

##### (株)WITHホールディングス

経営コンサルティング業務

##### (株)WITH

保育園・学童施設・介護施設の運営

##### (株)アンジェリカ

保育園・学童施設の運営

##### (株)Nプランニング

労働者派遣、給食食材卸売、教育サービス提供

##### グループ全体

保育園	79	63	20	-	162
学童	3	6	6	-	15
介護	-	4	-	-	4
スイミングスクール	1	-	-	-	1
療育	-	-	-	1	1
合計	83	73	26	1	183

売上高  
現Smile Holdings  
13,657百万円  
2025年3月期末実績



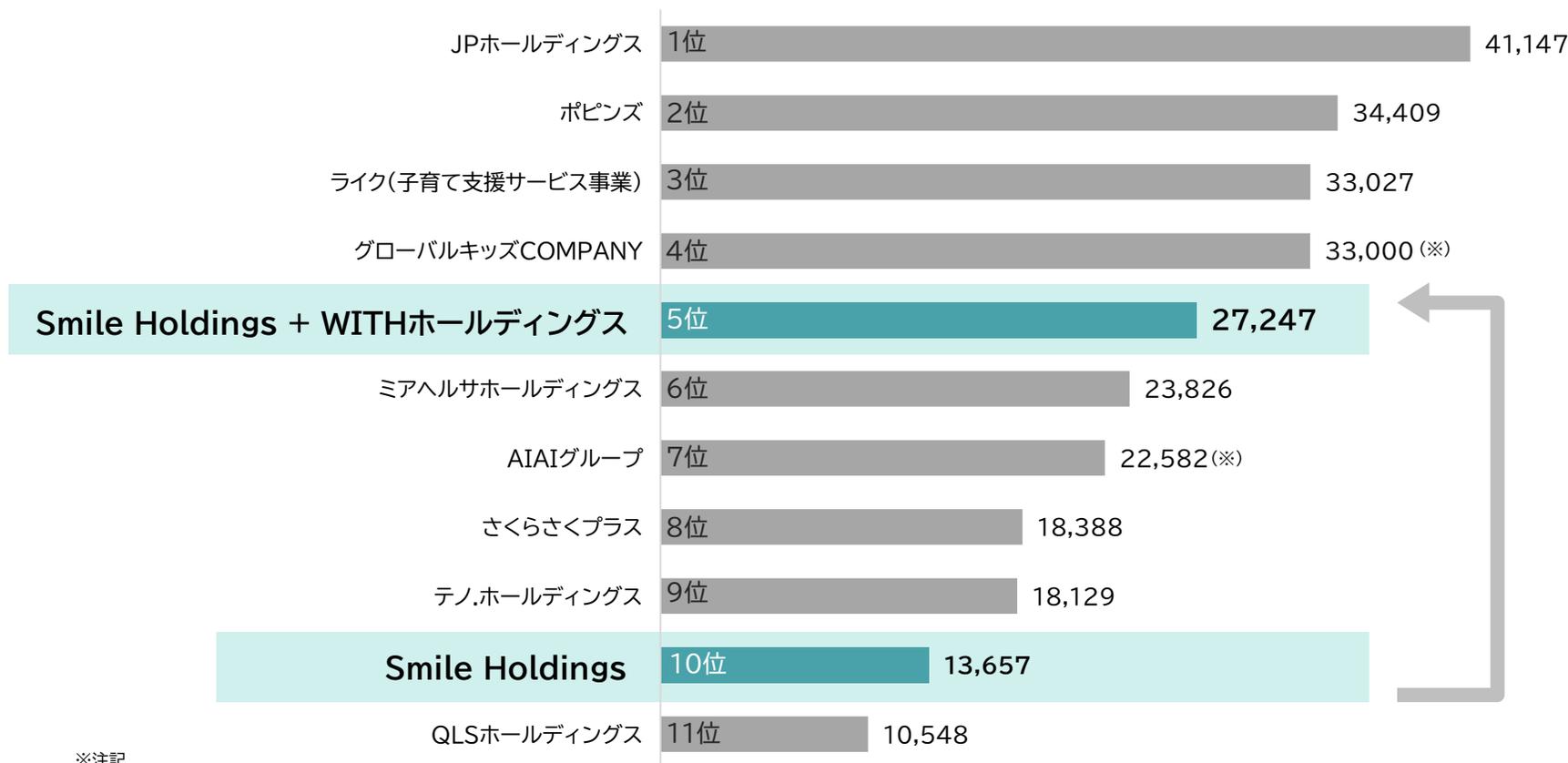
WITHホールディングス  
13,162百万円  
2025年10月期末実績



新Smile Holdings  
26,819百万円

### 新・当社グループのポジションについて

#### 保育業界売上高ランキング(上場企業、直近期実績、百万円)



※注記

- グローバルキッズCOMPANYの売上高は、2025年7月に子会社化したアソシエ・アカデミーの売上高の反映のため2026年9月期の業績予想を採用
- AIAIグループの売上高は、同社2025年3月期の実績と、きららホールディングスの2025年2月期の実績(同社開示資料に記載)を合計

## 経営課題

少子化が進行する事業環境において、

**持続的成長による社会的価値並びに株主価値向上の両立**

## 重要な2つの施策

### ①既存事業の安定化

- 高品質な保育・幼児教育サービスの提供
- 働きがいのある職場環境の整備(人材定着・採用力強化)
- 高い園児充足率の維持による収益基盤の安定化

### ②成長戦略の加速(新規事業・海外・M&A)

- 新規事業の立ち上げ  
(産後ケアホテル／建築デザイン／海外留学他)
- 海外展開の推進
- シナジー創出を前提としたM&Aの積極投資

### 3. 本件の経営戦略上の位置づけ

## 本取引の意義

#### 1 既存事業のより強固な安定化

- 首都圏における100施設のネットワークを獲得
- サービス領域(給食・人材・教育)の内製力強化
- 運営基盤の拡充による安定的な事業運営の高度化

#### 2 収益基盤、財務基盤の強化

- 良好な収益性を有する事業の取り込みによる業績拡大
- 安定した収益基盤の獲得による財務体質の強化
- グループ全体の収益安定性の向上

#### 3 新規事業への積極的な取り組み

- 事業ポートフォリオの多角化  
⇒人材サービス事業、フード事業、介護事業、公的学童事業、療育事業の当社グループへの取り込み  
⇒新たな成長領域の獲得による成長の加速

#### 4 シナジー効果の発現

- スケールメリットの創出(調達・運営効率の向上)
- 保育運営ノウハウの共有・高度化
- クロスセル・人材活用による付加価値の最大化

### 3. 本件の経営戦略上の位置づけ

## ① 既存事業のより強固な安定化

都道府県別運営施設数

拠点	運営施設	Smile Holdings	WITHホールディングス	総合計
東京都	保育所	63	60	123
	学童施設	3	7	10
	介護施設		1	1
	プレミアム教育施設	9		9
	<b>東京都計</b>	<b>75</b>	<b>68</b>	<b>143</b>
埼玉県	保育所		19	19
	学童施設		4	4
	介護施設		3	3
	療育施設		1	1
	<b>埼玉県計</b>		<b>27</b>	<b>27</b>
神奈川県	保育所	5	4	9
	学童施設		1	1
	プレミアム教育施設	1		1
	<b>神奈川県計</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>11</b>
愛知県	保育所	2		2
<b>総合計</b>		<b>83</b>	<b>100</b>	<b>183</b>

- 全国的に少子化が進む環境下においても保育事業の安定運営が見込める首都圏の、大幅な事業基盤の強化
- 東京都 75 → 143施設
- 埼玉県 0 → 27施設
- 神奈川県6 → 11施設  
⇒東京を中心に埼玉、神奈川の大幅強化
- (参考)2025年には東京都においては出生数が9年ぶりに増加に転じており、東京、神奈川、埼玉の保育事業は盤石である認識

### 3. 本件の経営戦略上の位置づけ

## 2 収益基盤、財務基盤の強化

各段階利益、EBITDAは200%を大きく超える規模に成長。財務基盤がより強固に

(単位:百万円)	Smile Holdings		WITHホールディングス		Smile Holdings + WITHホールディングス	
	2025年3月期 実績	2025年10月期 実績	単純合算	増加比		
売上高	13,657	13,162	26,819	196.4%		
営業利益	411	660	1,071	260.6%		
EBITDA	1,215	1,720	2,935	241.6%		
経常利益	414	542	956	230.9%		
当期純利益	152	213	365	240.1%		
FCF (フリーキャッシュフロー)	516	1,199	1,715	332.4%		

※注記:

- WITHホールディングスの財務情報は事業報告書より取得。
- 当合算値は直前期の2社の損益計算書を単純合算した参考値であり、本買収にかかる買収費用やのれん償却費等を考慮にいれたものではありません。

### 3. 本件の経営戦略上の位置づけ

## 3 新規事業への積極的な取り組み

### 新Smile Holdingsの新規事業ポートフォリオ

#### 現Smile Holdingsの新規事業(着手済)

##### 新規事業① 産後ケアホテル事業



2026年6月、東京・有明に産後ケアホテルVilla Mom(ヴィラママ)を開業。今後、全国の都市圏へ拡大予定

##### 新規事業② 建築デザイン事業



80園以上の保育園を作り、「使い続けてきた」経験との双方を活かしつつ、建築デザインを通じて家族が集う空間づくりのプロジェクトを多数進行中

##### 新規事業③ 国際教育事業



観光庁長官登録旅行業第1種を取得し、イギリス、スイス、ハワイ等のボーディングスクールにおけるサマースクールや親子留学を企画販売

##### 新規事業④ 海外保育園運営企業への経営参加(検討中)



WITHホールディングスの既存事業のうち、当社グループとして新規となる事業

新規事業⑤ 保育業界特化人材サービス事業

新規事業⑥ フード事業

新規事業⑦ 公的学童事業

新規事業⑧ 介護事業

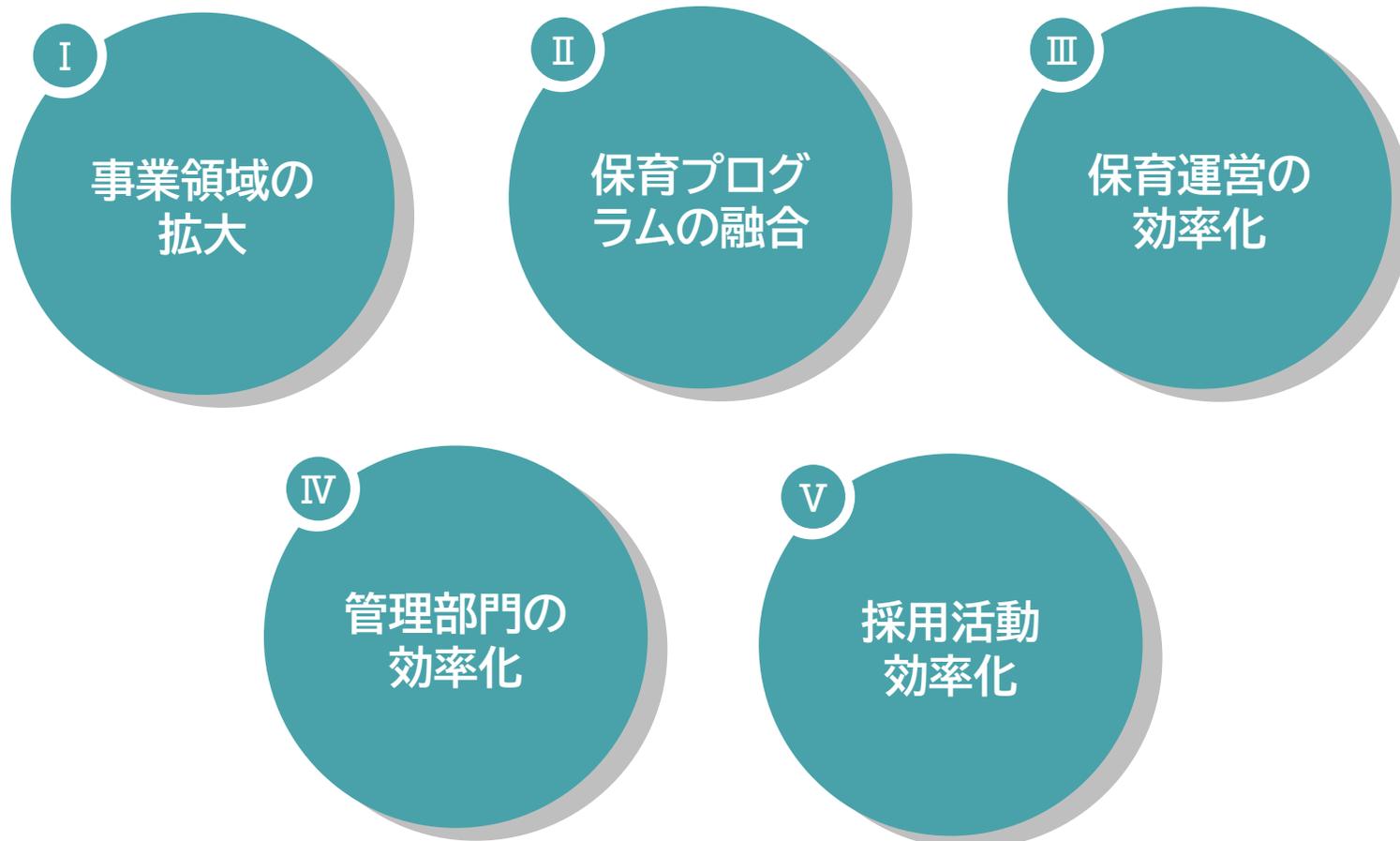
新規事業⑨ 療育事業



**新Smile  
Holdingsとして  
取り組む新規事業  
の大幅増加**

## 4 シナジー効果の発現

下記5項目に注力



## 4 シナジー効果の発現

売上面、コスト面双方において、様々なシナジー効果の発現が期待

I

### 事業領域の拡大

- 保育業界特化人材サービス、フード事業、公的学童事業、介護事業、療育事業等、当社グループにとっての新規事業をグループに取り込み、事業領域拡大と成長の加速化を図る

II

### 保育プログラムの融合

- 両社の持つ保育プログラムのノウハウを融合し、保育サービスの質の向上、および児童の安全対策強化を行い、お客様満足度や利用率の向上を図る

III

### 保育運営の効率化

- 保育運営のオペレーションノウハウの融合を実施し、質の向上と効率化を図る
- グループ全体での保育士配置の最適化を行い、働きやすさと優秀な人材確保の両立を図る
- 給食や教材、玩具等の仕入先の統合により集中購買を実現し、仕入単価の低減を実施

IV

### 管理部門の効率化

- 管理部門の統合による適材適所の人員配置を行うことで、品質向上と従業員の働き甲斐向上を図るとともに、販売費および一般管理費の削減による収益向上を目指す

V

### 採用活動効率化

- グループ全体での連携した採用活動を行うことで、優秀な人材の確保とともに、採用費用の効率化を図る

資金の借入に関する概要	
借入先	株式会社三菱UFJ銀行
借入金額	<b>16,772百万円</b> ※内、株式取得資金12,141百万円、対象会社の既存借入金のリファイナンス資金4,300百万円、ほか付随費用
借入期間(予定)	1年(2026年3月31日~2027年3月30日)
借入利率	変動金利(基準金利+スプレッド)
返済方法	期日一括返済(パーマネントローンへの切り替え)
担保の有無	無

- ブリッジローン→パーマネントローンへ切り替え:当ブリッジローンによる調達取引実行した上で、三菱UFJ銀行を中心とした複数の金融機関とのシンジケート型パーマネントローンへ切り替えを実施
- 無理のない返済計画:毎期の返済額が、買収対象会社から発生するフリーキャッシュフローの金額を上回らない返済計画を設定
- 新規事業投資向け融資枠の確保:本融資実行後も産後ケアホテル、建築デザイン等、新規事業への設備投資に対する新規融資検討を妨げない財務状況を維持
- 全額借入による実施:本件に伴う資金調達については、全額を本借入により充当し、本株式譲渡を目的とした新株発行等のエクイティ・ファイナンスは実施いたしません。

## 5. 特別株主優待の実施について

### 株主還元を強化: 特別株主優待の実施

本取引は当社グループの経営基盤を強化し、今後の成長に大きく寄与するものになると判断しており、ここまでのご支援への感謝、また今後も引き続き当社の成長を力強くご支援頂きたいという想いを込めて、既存の通常優待に追加して「特別株主優待」を実施

基準日・条件	保有株式数	優待内容
2026年3月31日から2026年9月30日まで 6ヶ月間継続保有	300株以上	デジタルギフト7,500円分

#### ●現在運用中の株主優待制度

基準日	保有株式数	優待内容
9月末日(前3月末より継続保有)	300株以上	デジタルギフト7,500円分
3月末日(前9月末より継続保有)	300株以上	デジタルギフト7,500円分

#### ●現在運用中の配当政策

	2025年3月期(実績) 基準日:2025年3月31日	2026年3月期	
		上期(実績) 基準日:2025年9月30日	下期(予想) 基準日:2026年3月31日
1株あたり 配当金	95.0円	47.5円	47.5円
配当金総額	3億円	3億円	
DOE	4.8%	4.4%(※)	
EBITDA性向	26.4%	28.6%(※)	

配当政策の基本方針 ① DOE 4%~5% ② EBITDA性向25%~35% ③ 継続実施 ※会社予想ベースで算出

## 5. 特別株主優待の実施について

### 株主還元・株主優待制度の詳細一覧

例: 基準日(2026年3月31日)から2026年9月30日までの6カ月継続保有し、同一の株主番号で2回連続で株主名簿に300株の保有が記録された場合

	内容	基準日	年間合計	
配当金	年2回(中間47.5円/期末47.5円)	26年3月末(期末)/26年9月末(中間)※	28,500円	通常優待 に対する 追加優待 となります
通常優待	7,500円相当のデジタルギフト	26年3月末(期末)/26年9月末(中間)	15,000円	
特別優待	7,500円相当のデジタルギフト	2026年3月31日	7,500円	
総合計			51,000円	

※: 26年9月末の中間配当金については、直近の配当実績に基づいた試算であり、今後開催予定の取締役会における決議を経て正式に決定される予定です

## 6. 参考資料：財務諸表の単純合算①

### 各段階利益、EBITDA、運営施設数、従業員数も全て200%以上の事業規模に拡大

買収ファイナンスの返済額が、買収対象会社から発生するフリーキャッシュフローの金額を上回らない計画になっており、財務体質の安定性を維持しながらの事業展開に

(単位:百万円)	Smile Holdings	WITHホールディングス	Smile Holdings + WITHホールディングス	
	2025年3月期 実績	2025年10月期 実績	単純合算	増加比
売上高	13,657	13,162	26,819	196.4%
売上原価	11,723	10,510	22,233	189.7%
売上総利益	1,934	2,651	4,585	237.1%
販売管理費	1,523	1,991	3,514	230.7%
営業利益	411	660	1,071	260.6%
EBITDA	1,215	1,720	2,935	241.6%
経常利益	414	542	956	230.9%
当期純利益	152	213	365	240.1%
FCF (フリーキャッシュフロー)	516	1,199	1,715	332.4%
運営施設数(施設数)	83	99	182	219.3%
従業員数(人)	1,794	1,869	3,663	204.2%

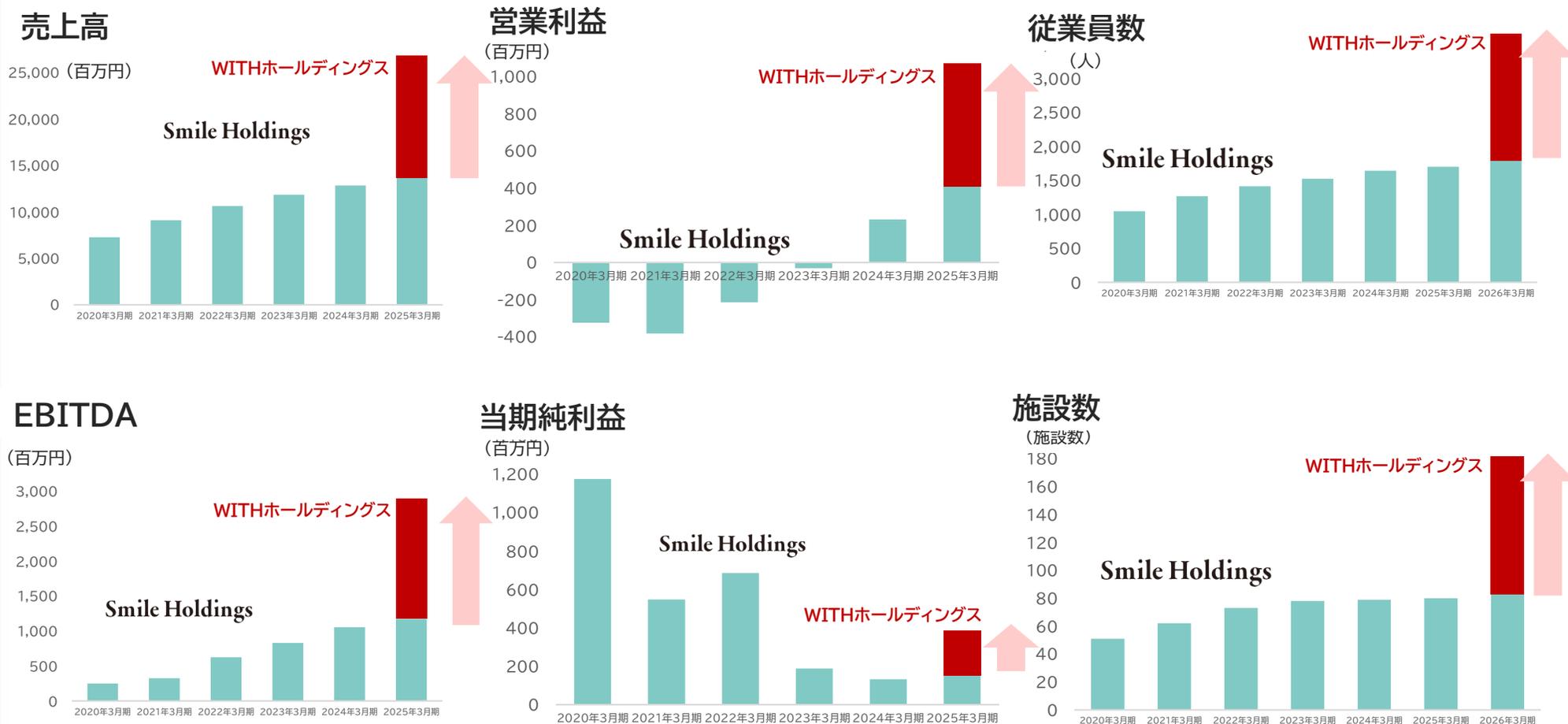
※注記:

- WITHホールディングスの財務情報は事業報告書より取得。
- 当合算値は直前期の2社の損益計算書を単純合算した参考値であり、本買収にかかる買収費用やのれん償却費等を考慮にいれたものではありません。
- 従業員数について、SHは2026年3月末見込、WITHホールディングスは同社中期経営計画より取得。

## 6. 参考資料：財務諸表の単純合算②

### 上場以来の成長ペースを越える非連続な事業拡大を実現

各段階利益、運営施設数、従業員数も全て200%以上の事業規模に拡大



※注記:

- WITHホールディングスの財務情報は事業報告書より取得。
- 当合算値は直前期の2社の損益計算書を単純合算した参考値であり、本買収にかかる買収費用やのれん償却費等を考慮にいれたものではありません。
- 従業員数について、SHIは2026年3月末見込、WITHホールディングスは同社中期経営計画より取得。

- 本資料は、株主・投資家などの皆様に当社の経営方針や財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料における情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、特に対象会社情報は財務・税務・法務デューデリジェンスにおいて合理的な手段を通じて間接的に入手したものであり、掲載された情報の内容が正確であるか、更新時期が適切か等について一切保証するものではありません。
- また、掲載された情報またはその誤り等、本資料に関連した損害または障害などに関しては、その理由の如何に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。
- 実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。